

(高学年)
 解決しようとする意欲を高めさせながら学習課題を練り上げさせ、資料から読み取った内容を課題と関連づけて考えさせる場を多くすれば、主体的な学習が展開されるであろう。

二、研究の概要

(一) 社会科学学習の授業仮説と指導の手だて

(1) 社会科学学習の授業仮説
 研究授業においては、研究仮説の検証にポイントをおいて実践を進め、低・中・高学年の各ブロックごとに副主題、仮説を設定し授業実践の視点とした。

(2) 社会科学学習の基本的な指導過程
 児童の追求が中心となって展開する授業は、児童の思考過程と学習過程が対応しなければならぬ。「おや、変だ」「なぜだろう」という問題意識を持ち、それが課題意識へと高まっていく。さらに、「見る」「考える」「調べる」などの方法を取りながら自分の結論を導き出す形態が一般的である。本研究では、学習者である児童の主体的な活動を重視する立場にたち、次のような指導過程を設定し、実践してきた。(資料2)

資料2 社会科学学習の基本的な指導過程

| | 教 師 | 児 童 |
|---------|---|---|
| つかむ・たてる | <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題意識を持たせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の基本事項から ・ 意外性のあるものから ○ 疑問・矛盾に気づかせ、本時の課題を発見させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題意識を課題意識へ高めさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題の所在を考え問題意識を持つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既習事項や既習経験から考えを発表する。 ○ 本時の目標を把握し、課題意識を持つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既習事項の分析・総合からいくつかの予想を考える。 |
| 追究する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決のために分析・総合・関係把握など思考場面を設定し、追究させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事象の関連・比較など具体的条件を明らかにする。 ・ 資料の提示・説明・指示をする。 ・ 意見交換を通し全体で確かめさせる。 ○ 根拠を明らかにし、解決させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 意欲的に問題解決に取り組み追究する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 解決への手順を考える。 ・ 根拠となる資料を自ら探り解決する。 ・ 他の方法で解決できないか考える。 ・ グループで討議し、内容をメモする。 ○ 根拠を明らかにし意見を発表し解決する。 |
| まとめる | <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題とその予想をふりかえりながらまとめさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 解決したことをまとめさせる。 ・ 予想したこととのずれをはっきりさせる。 ○ 発展的に派生した問題について考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既習事項や他の場合と比較させ、特色を把握させる。 ○ わかったこと、わからなかったことを明らかにし、次時への問題意識を持たせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習事項の整理と評価をさせる。 ・ 次時の予告をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 予想したことと比較しながらまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ことば・絵・動作でまとめる。 ・ 予想したこととの違いをはっきりさせる。 ○ 具体的な事実・事象にあてはめてみる。 ○ 学習への取り組みを反省・評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 板書等を整理する。 ・ わかったこと、不明な点・疑問点をはっきりさせておく。 ・ 自己評価をする。 ・ 次時の学習について知る。 |

※ 問題意識＝ 「あれっ」「おやっ」「不思議だ」「すごい」等の意識のこと。

※ 課題意識＝ 問題意識に自分なりの予想が加えられるものであり、さらに全員のものとなっているもの。